

第3回元日野サンプラザ有効活用検討委員会

日時：平成28年2月29日（月）

午前10時～

場所：日野町役場2階大会議

1 開 会

2 協議・意見交換

◎「元日野サンプラザの有効活用について」

(1) 国、県の許認可・規制、業界の状況等について

(2) 具体的な有効活用方法について

(3) その他

3 閉 会

「元日野サンプラザ有効活用検討委員会」委員等名簿

平成27年11月10日

【委員】

所属・職名	氏 名	備 考
鳥取県西部総合事務所日野振興センター所長	藤本 好正	
鳥取県商工労働部立地戦略課長	池田 一彦	
日野町商工会会長	中西 康夫	
日野町観光協会会長	小谷 澄男	
日野町社会福祉協議会会長	山田 厚弘	
民生児童委員、D o スポーツ会長	森田 勝彦	
山陰合同銀行根雨支店長	今出 正	
鳥取銀行根雨支店長	池淵 泰輔	
鳥取県西部農業協同組合日野支所長	安達 淳子	
鳥取日野森林組合参事	小谷 順万	
黒坂地区連合区会会長	鳥居 良光	
子育て世代	高田 美樹	

【アドバイザー】

所属・職名	氏 名	備 考
山陰合同銀行地域振興部副調査役	井上 光悦	
鳥取県商工会連合会 西部商工会産業支援センター部長	藤井 辰美	

【事務局】

所属・職名	氏 名	備 考
日野町 町長	景山 享弘	
〃 副町長	山口 秀樹	
〃 教育長	長谷川 弘信	
〃 総務課長	稲田 正純	
〃 企画政策課長	権田 正直	
〃 健康福祉課長	渡部 裕之	
〃 住民課長	矢田貝 慎一	
〃 産業振興課長	吉原 敏治	
〃 教育課長	後藤 一則	

元日野サンプラザ有効活用を検討事項【国や県の許認可、規制の状況】

区分	現状	許認可・規制	課題
老人福祉施設、介護施設	老健、特養、グループホームについて、単位高齢者人口当たりの施設数は、江府町と並んで西部市町村中トップ。本町における高齢者人口増加も、そろそろ頭打ちである状況から左記に係る施設（通所リハビリやデイサービスも含め）は概ね充足している。	開設までの主な手続き 【準備】 ・設置場所の確定（農地転用、開発許可等設置法規制） ・基本構想（平面図）の確定 ・施設整備計画書 【市町村協議】 ・市町村介護保険計画に組み入れる。（既存計画 H27～29。次期は H29 年度に策定作業）→県介護保険計画への搭載 【県協議】 ・事前協議 ・本協議 ・法人認可及び施設等整備審査（鳥取県社会福祉審議会） ↓（建設期間） ・（市町村から開設許可申請に対する意見書） ・開設許可	・運営主体（医療法人、社会福祉法人等制限あり） ・人材の確保（現状でも困難傾向） ・開設許可までに時間がかかる。

サービス付高齢者住宅（通称 サ高住）

1. サ高住とは、

・いわゆる老人福祉施設や介護老人保健施設ではなく、「高齢者に特化した賃貸住宅」。

メリット	デメリット
・高齢者が契約しやすい賃貸住宅である ・高齢者が生活しやすい設備が整っている ・新規参入が多く、選択肢が豊富 ・介護認定のない自立した高齢者も入居できる ・自宅同様、自由な生活を継続できるところが多い	・一般的な賃貸住宅に比べ家賃が高い ・重度の介護状態では、基本的に住み続けられない ・介護は訪問介護サービスを利用する ・施設によって提供されるサービスに差がある

2. 「サービス」とは

サービス付き高齢者向け住宅で提供されるサービスは、「安否確認」と「生活相談」です。
ただし、「特定施設入居者生活介護」の指定を受けている一部の施設では介護職員による食事・掃除・洗濯のサポート、介護職員や看護師による入浴・食事・排泄などの介護、機能訓練指導員によるリハビリテーションなど、介護付有料老人ホームとほぼ同様のサービスを行っています。

3. 事業主体 医療法人、社会福祉法人、株式会社、個人など特に規制なし。 (具体例：株式会社ハビネライフケア、有限会社とんや、医療法人社団 昌平会、社会福祉法人こうほうえん、医療法人社団 日翔会、社会医療法人仁厚会など)

4. 許認可・規制 建築基準法、消防法、都市計画法 サービス付き高齢者向け住宅事業の「登録」 (鳥取県生活環境部くらしの安心局 住まいまちづくり課) ※ 「特定施設入居者生活介護」の指定を受ける場合は、建築許可の前に鳥取県に対して許可申請を行う必要がある。

5. 補助制度 「サービス付高齢者向け住宅整備事業」(国の直接補助) (平成27年度の例) 補助率 新築：1/10 改修：1/3 補助限度額：1,000万円/施設

ファミリーサポートセンター

1. ファミリーサポートセンターの援助内容

- 保育施設の開始前や終了後子どもを預かる。
- 保育施設までの送迎を行う。
- 学童保育終了後や学校の放課後子どもを預かる。
- 冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際、子どもを預かる。
- 買い物等外出の際、子どもを預かる。
- 学校の夏休みなどに子どもを預かる。

2. ファミリーサポートの仕組み

- (1) 依頼会員 子供の保護者会員
- (2) 提供会員 子供を預かる会員
- (3) 双方の会員登録
- (4) 預ける手順
 - ① 依頼会員がファミリーサポートセンターへ電話（依頼）
 - ② アドバイザーが登録提供会員から預かってくれる人を探す。
 - ③ 提供会員と依頼会員は、時間や場所など事前打ち合わせをして、子どもを預ける。
 - ④ 依頼会員は、規定の報酬と実費を提供会員に直接支払う。
- (5) 預かる場所
 - ① 提供会員の家庭
 - ② 施設を確保

3. 町内の現状

- 町内においてファミリーサポートの実施はない。（個人的な契約等に基づく乳母等…。）
- 類似の事業として「おひさま広場」による一時預かり
 - ◎ 課題として
 - ・ 時間の制約（8：00～16：00）
 - ・ 曜日の制限（水・木・金曜日）
 - ・ 数日前までに予約が必要

4. ファミリーサポートのメリットとデメリット

メリット	デメリット（課題）
・ 対応可能な時間の拡大 ・ 予約が不要	・ 預かり者の登録確保 ・ 預かり者宅までの輸送手段 ・ 預かり者の責任 ・ 利用料の設定 ・ 調整担当（アドバイザー）の配置

元日野サンプラザ有効活用検討事項 【業界の状況】

区 分	現状・課題	メリット	デメリット
葬祭会館	自宅葬から会館葬のシフトは主流確実。一般的には、商圏2キロメートル、人口3万人だが、米子市内から市内周辺郡部域に広がっている、近隣では溝口、日南にある。光風(市内、郡部)、葬仙(市内)、J A(郡部)など多店舗化。商圏が狭く地域密着性、最寄性が高いため、競合店がなければ地域独占は可能。人付き合いが狭まり、高齢者単独世帯の増加など葬儀ニーズは単純から多様に。競争地域では、小規模対応型などニーズを絞った会館も出現している。料金明示化の流れとともに、価格は下落傾向。	近隣は溝口と日南しかなく、住民の利便性は向上 葬祭会館利用増による、関連サービス、周辺商業の収益機会期待 幹線道路沿い、町内中心地、周辺施設もあり立地良し。	併設機能(サービス)との相乗効果が限定的。 葬祭時、併設機能(サービス)への悪影響。 死亡者数は増加すると思われるが、直近でみると日野町の死亡者数はここ数年は減少傾向にある。H22年93人⇒H25年59人(同時期江府42人⇒62人、日南117人⇒143人)。日南は民間会館がほぼ独占中で期待薄。江府(江尾)からは溝口会館よりも距離が短いことは強み。
ドラッグストア	医薬品、化粧品、日雑、食品を扱う小売業態。日野町民は南部町(ウエルネス)伯耆町(コスモス、ウエルネス)市内(多数)日南パセオSC内小規模地元店を利用と推定。業界は競争激化、大型化、寡占化が進む。ネット販売も急拡大中。高齢化・長寿化により、薬だけでなく、病気予防や健康維持・改善のニーズ高まる。	住民の買い物利便性が向上。	昼間人口は夜間人口を上回っている(H22年)ものの絶対的な商圏人口は不足。町内薬局、ホームセンター、コンビニ、スーパーマーケットの品ぞろえと重複。

フィットネスクラブ	フィットネス顧客率は都市部に行くほど高い。統計的には地方都市で1%前後。各種施設（スタジオ、マシン、プール、ロッカー）が必要で設備投資大きい。商圏人口は相当必要。 価格は低下傾向。 郡部では、南部町の町営施設。市内にはPAJA、ホリデイ、コナミ。日南町に現在健康スポーツ施設構想がある。 業態は異なるが、カーブスが小商圏で中高年女性をターゲットとした女性だけの30分健康体操教室を展開中。日吉津、米子、大山、伯耆。大山カーブスは行政が保健事業として鳥大・同社と連携。	健康増進効果による医療費抑制効果期待。 町民交流施設としての機能 高齢者、中高年、女性の健康ニーズ対応期待。 日野病院との連携効果 テニス、カヌー（日野川）などのスポーツと連携 温泉の可能性はないでしょうか？	利用率、継続率から、商圏人口が不足。投資額が大きい。
道の駅	県内15、島根28、岡山16広島18 ●道の駅奥大山（江府H27.4～）交通量5000台（青果、加工品、レストラン等）、 ●日南 H28.4.22オープン予定 交通量2000台（青果、加工場、レストラン等） ●山陰道東向き 大山、琴浦等 ●9号線西向き 安来 全国で1000か所を超え、当初目的の道路利用者へのサービスから、地方創生の拠点としての機能強化という第2ステージに入った。日南、琴浦が重点道の駅に指定されている。 地域の特徴や強みをどれだけ品揃えできるかにかかると。	地域産品販売、地域情報の発信機能 国による整備（駐車場、トイレ、休憩施設等） 施設のPR（道路標識、地図、ナビ）効果 開発計画策定による地域一丸効果 日野3町集中設置によって、対外的に地域のPR効果。相互連携による効果	構想期間、申請時期など時間が必要 行政財源

コインランドリー	周辺地では日南ショッピングセンターバ セオ構内に1か所あり。伯耆町内に3か 所。 初期投資後は現金収入が得られ、立地良 ければ確実な営業可能。遊休地などの活 用でサイドビジネス、副業型。 クーリーニング店併設型のコインランドリ ー(ホワイト急便、白洗舎など)も増加 中。 布団など大物や大量洗い、乾燥ニーズな ど対応	町内には存在せず住民の利便性向上	雇用効果、産業連関性は低い 夜間の営業時間帯への配慮。風紀、 安全性の確保。 窓を大きくするなどの設備対応が必 要。
-----------------	---	-------------------------	---

元日野サンプルが有効活用を検討事項 【個別案件】

区 分	現状・課題	メリット	デメリット
宝くじ売場	宝くじ付証票法により、県を通じて総務省の許認可が必要 販売委託先金融機関、委託業者による直営、委託による 都市部中心で山間部には少ない。米子市以南は空白地帯？	年間20万人参拝の金持神社から人の流れができ、併設機能(サービス)や周辺店舗への波及効果を期待 委託の場合、雇用が生まれる 売り上げに応じて手数料収入が得られる	カウンター等の設備、端末機器、照合機、回線工事など初期投資が必要 業務開始後は機器使用料、物流費、広告宣伝費、通信費等の費用が発生
日野産米の保冷库、精米プラント	農家の高齢化により離農が進み、耕作放棄地の拡大が懸念 耕作ができなくなった農地を集約した担い手農家の経営規模が拡大傾向にあり、保冷施設や精米プラントの整備が必要 海藻米は町特産品としてブランド化を推進	担い手農家のさらなる経営規模拡大をサポート 建物の新設より施設設備の整備に要するコストを削減	併設機能(サービス)との相乗効果が限定的 騒音や振動による併設機能(サービス)への影響 担い手農家の資金調達が困難な場合、町の財政支援が必要

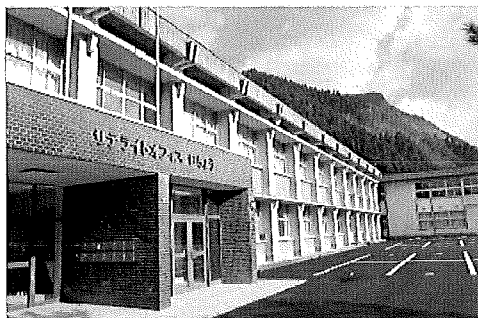
廃校舎、空きオフィス等の未利用施設を活用した事例

平成 28 年 2 月 29 日

鳥取県商工労働部立地戦略課

1 サテライトオフィスいちよう（日南町の事例）

- ・日南町では、平成 21 年に統廃合により廃校となった日南町立日野上小学校を改修し、教室を事務所として企業に貸し出す「サテライトオフィスいちよう」を開設。
- ・平成 24 年度に活用構想が出てから、翌年度に計画策定、基礎改修等を行い、平成 26 年 4 月に開設。
- ・LED の製品開発や特産野菜等の加工を行う企業・団体等が 8 件入居済み。（全て町内に本社を置く企業）

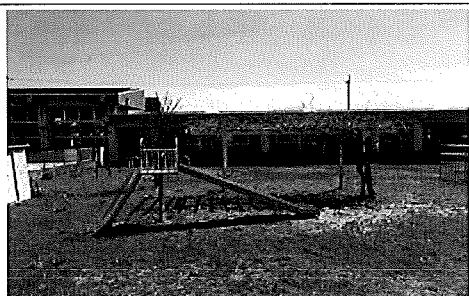


【サテライトオフィスいちようの概要】

場所：日南町三栄 1097-1 利用料金：月額 5 千円～
 貸出面積：1,161 m² 貸出室数：11 室
 主な利用企業：(株)スマート TEC（LED の開発・製造・販売）
 日南物産(株)（トマトの加工品出荷及び保管）
 (財)エナジーにちなん（地域の特産品の販売）

2 株式会社アマゾンラテルナ（大山町の事例）

- ・東京に本社を置く映像制作会社が、大山町からの物件紹介を受け、遊休施設を活用した事例。
 - ・大山町内の保育所（旧逢坂保育所）の一室を改修し、平成 27 年 4 月 1 日からオフィス利用を開始。
- ※軽微な改修のみであったため、提案から短期間での入居が可能であった。
- ・本社からの移住者を含め 4 名で事業を行っており、大山町の CATV の番組（地域の課題について語り合うパネルディスカッションなど町民参加型の番組）を制作している。



本社所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷 3 丁目 50 番 11 号

本社業務内容：映画、TV 番組等の企画制作

（情報番組、バラエティなど NHK をはじめ全国放送の番組を制作）

※大山町での取材をきっかけに、地方の映像コンテンツ制作を
 地方創生の核にしたいとの考えから、大山町への立地を決定。

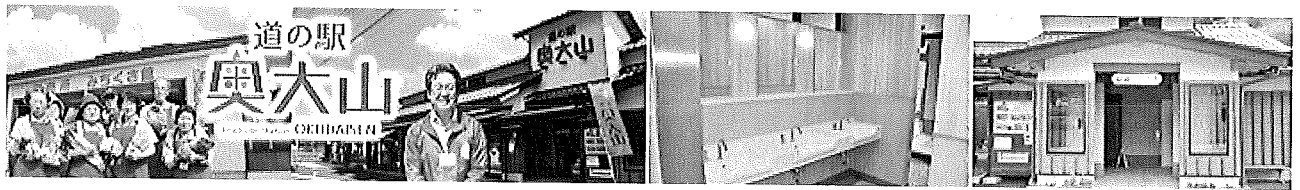
3 ゴアテックニッコウマシナリー株式会社（北栄町の事例）

- ・大阪に本社を置く企業が、廃業したオフィスを活用し、北栄町にサテライトオフィスを設置した事例。
- ・事業者が独自に入居物件を探し、賃貸開始から 1 カ月程度の改修を経て、平成 26 年 5 月に操業開始。
- ・音響部品製造設備（自動機）の開発・設計、納入前製品の最終確認等のオフィス業務を実施。

4 シンリッシュ株式会社（智頭町の事例）

- ・愛知県から智頭町に移住した夫婦が、廃校舎の教室を活用して企画調査事務を行うオフィスを開設。
 - ・廃校（旧那岐小学校）を、地域の協議会と協議の上、賃貸、改修して平成 27 年 9 月から操業開始。
- ※内装が非常に良好な状態で引き渡されたため、立地検討から短期間で操業が開始できたもの。
- ・将来的にはシェアオフィス、また県外 IT 企業等を呼び込む短期滞在型のミーティング誘致を予定。

道の駅 奥大山 ホームページより



～豊かな自然と水が織りなす・ふれあいとおもてなし～道の駅奥大山（おくだいせん）

施設概要

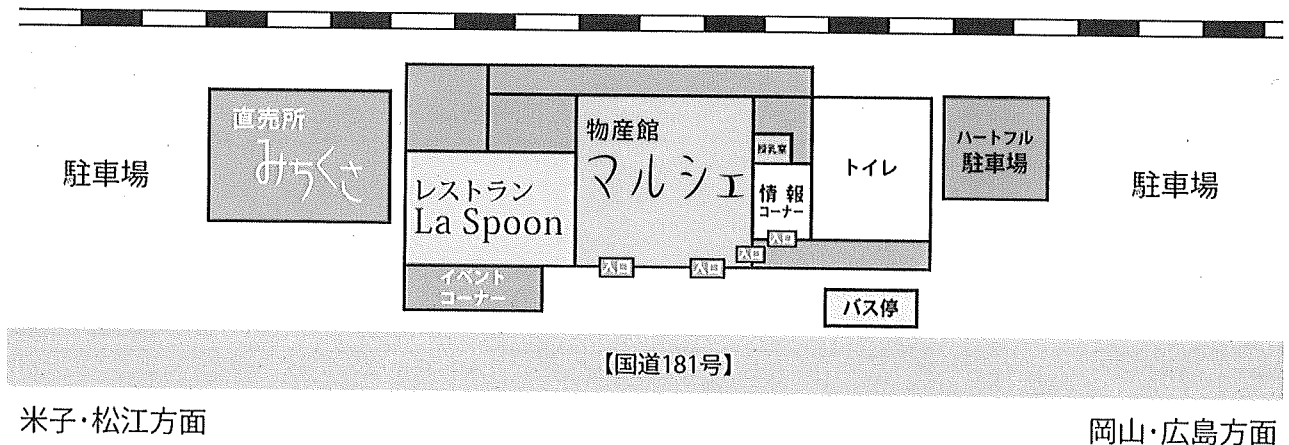
所在地:鳥取県日野郡江府町佐川908-3
工 期:平成26年10月27日～平成27年4月9日

主な施設

延床面積:3,700m²
建物面積:403.21m²
付属施設:49.72m²

設備概要

- ・休憩施設
トイレ15器
男:小5器、大3器
女:6器
多目的トイレ:1器
- ・情報コーナー
- ・駐車場43台
大型6台、小型36台、身障者1台
- ・バス停
- ・地域振興施設
農産物・特産品販売施設、レストラン



第1回元日野サンプラザ有効活用検討委員会の開催結果について

平成27年12月4日

企画政策課

11月10日に第1回元日野サンプラザ有効活用検討委員会を開催したので、報告します。

1 開催趣旨

元日野サンプラザの有効な活用方法について検討し、町への提言等を行う。

2 日時 平成27年11月10日(火) 13:30～15:30**3 場所** 日野町役場庁舎 大会議室**4 出席者**

委員11名(1名欠席)、アドバイザー2名、事務局9名 ※別添の委員等名簿を参照。

→※委員互選により中西委員を委員長に選出

5 概要**(1)町長あいさつ(要旨)**

検討委員会設立の経緯を説明。競売不調となっていた元日野サンプラザ取得のため、H26年に議会提案したが否決。H27年4月の町議会議員選挙の争点となり、その結果を受けて、現状のまま放置でよいのかという思いで、H27年9月議会で再提案したところ関連予算を可決。地方創生の柱として活用し、町民の期待に応える施設にしたい。

(2)協議・意見交換

事務局より、これまでの経緯、検討の進め方、スケジュールについて説明を行った後、意見交換を行った。

【主な意見(要旨)】

○株式会社など組織を作って経営するなど、民営でもやり方はあるが、施設の規模が大きいので、ある程度分割した方がよいのではないかと。また、新たな魅力をつくって、このような路線で行くから一緒に汗をかいてもらいたいと募集してはどうか。その辺りを整理して経営方針を立てるべき。

○施設を取得して残すだけならできるが、如何に継続して運営していくかが問題であり、経営が成り立つようにすることは容易ではない。町内なのか、米子からなのか、集客対象を誰にするのかも含めてしっかり検討すべき。

○元日野サンプラに他所から人が来てもらって根雨の街中も歩いてもらえるようになればよい。さらに、(元日野サンプラザから)黒坂へも足を運んでももらえるような日野町の起爆剤になってもらいたい。

○溝口や日南にも葬祭場があって新たに参入することは容易ではないと思うが、かつては町公舎を使って町内業者の料理を持ちこんで葬儀を行っていた。町社会福祉協議会に祭壇もあるので、そうした施設の代替場所になり得ると思う。黒坂や上菅の人たちにも利用してもらえるようになれば良いと思う。

○葬祭関係に力点を置いてもらいたい。町内でも自宅葬が少なくなり、自宅に代わるような小規模な葬祭場(式場、会食場、控室)が必要と思う。葬祭施設を新設すると財政負担が大きすぎるので、元日野サンプラザを活用すれば、食事提供は町外業者でなく町内業者で対応できると思う。

○土地を借地として想定しているが、当初から買い取りで進めた方がよいのではないかと。

- 中山間地域において、IT関連をターゲットする場合にはサテライトオフィスを誘致という例もあるが、誘致の前提として情報通信環境の整備が求められ、そうした経費も必要となってくる。いずれにしても、どういった企業をターゲットにするのかで(県の財政支援の内容も)変わってくる。
- 地域おこし協力隊が任期の3年経過後に自立する際に、チャレンジする場所として(元日野サンプラザ)を活用してもらったかどうか。
- 元日野サンプラザが廃業してから民間活用がなかったことを踏まえないといけない。米子に出れば揃うものを提供するのも一つの方法であるが、町にしかないもの、町の魅力として他所から人が来る仕組みづくりが大事。それを運営していく中で、行政ができなければ、これをどう管理、運営していくのかは大きなポイントである。
- 日野町の魅力として、(特産品などの)ブランド化があまり目立っていない。日野町の良いところをアピールしながら、元日野サンプラザで活用していった、町が活気づくにはどうしたらよいのか、日野町バージョンで地方創生につながれば良いと考える。
- (事業所等を)誘致するとしたら施設を区切ってサテライトオフィスのようにする。そこに情報通信環境が整備されていれば最低限のインフラ整備となる。そこまではしないと誘致は難しいのではないかな。
- 子育てを支援する「おひさまひろば」は、土、日、月、火が休みとなっているので、米子などに連れて行って遊ばせている。土日などに連れて行ける子どもを安心して遊ばせる場所ができればありがたい。
- (元日野サンプラザの)取得の方針が決まった時点で、町内の若者も色々な意見を持っている人も多いと思う。早い段階で意見を求めているかどうか。
- 防災倉庫について、商業の一等地であるサンプラザには必要ないのではないかな。

第2回元日野サンプラザ有効活用検討委員会の開催結果について

平成28年1月15日

企画政策課

12月24日に第2回元日野サンプラザ有効活用検討委員会を開催したので、報告します。

1 開催趣旨

元日野サンプラザの有効な活用方法について検討し、町への提言等を行う。

2 日 時 平成27年12月24日(木) 14:00～15:40

3 場 所 日野町山村開発センター 研修室

4 出席者

委員11名(1名欠席)、アドバイザー2名、事務局9名

5 協議・意見交換 「元日野サンプラザの有効活用について」 中西委員長進行

事務局より住民から募集したアイデアについて説明を行った後、意見交換を行った。

要望、意見のあったもののうち、福祉施設など法的に国や県の許認可や規制があるもの、各業界の事情など、現状や課題等を整理した上で、次回はさらに議論を深めることとなった。

(1)住民からの有効活用アイデア募集の結果について

【主な意見(要旨)】

- 施設を見たところ、2階は階段の上り下りがあるので、子育て支援の施設とか、募集意見にあったファミリーサポートセンターのような施設は1階に整備する必要がある。
- 屋外に遊具を置いてはとの意見があったが、駐車場があつて難しいので、屋内に整備すれば可能ではないか。
- 移住・定住、子育てが最も重要であり、(地方創生の戦略で)小学校の入学者数を平成32年度15名、平成37年度以降20名という目標を掲げているので、それが生かされる施設にすべき。
- (募集して)いろいろな意見が出されたが、核になるものが何か一つ必要ではないか。あれもこれも全てを盛り込んで、どれも中途半端になってはいけない。何から何まで全て盛り込むのは難しいと考える。
- 提案のあった意見の中には、介護施設や育児施設などのように国や県の許認可が必要な部門と、店舗などテナントが入る商業的な部門がある。許認可等が必要な施設を整備しようとすれば、ある程度の時間が必要であり、ハードルも高くなるのではないか。

- 多方面にわたっていろいろな意見が出るのは良いことであるが、やりたいもの、検討した結果、できるもの、できないもの、といったようにある程度の線引きが必要。
- ブロードバンド、インターネット環境が整備されないと、子育てや移住・定住、企業誘致も進められないと思う。

(2)具体的な有効活用方法について

【主な意見(要旨)】

- (サンプラザのある場所は)「コメリ」と「まるごう」があるという中で商業の一等地であると考え。商業施設として活用する場合、街中の店と競合すると、街中の店がなくなるので、競合しない施設としてほしい。また、場所的に車でないと行き来が難しい場所にあるので、車を利用できない方のためにも街中とのバランスは必要。
- 視察して、改めて広くていろんなものに使えると感じた。やはり多目的ホールは必要ではないかと思った。その中で、葬祭関係であれば神聖な儀式が行われるが、一方で賑わいづくりの施設も併設するとなると、壁は防音にするなどバランスを考えた方がよい。
- 子育て関係と葬祭関係が同じ屋根の下にあることに違和感を持つ人もいるようだ。
- 施設を全く一つのものとして考えるのか、同じ建物でも区切って行き来しないようにして出入口も分けてしまうという方法もある。
- 商業施設であれば、町内の既存の業者が活性化するようなことを考えないといけない。黒坂をはじめ、江府町や新庄村からも利用されるような施設となるよう広域的な視点が必要ではないか。
- 町の示した想定案は理想的な内容であるが、財政的に可能であろうかと感じたので、その中で一つでも二つでも実現すればよいと思う。
- 町民のためになるだけでなく、町外からたくさん来てもらえる施設にしないといけない。町外から来て買い物をしてもらえるのであれば、商業施設でもよいのではないか。日野町の将来人口を考えると、町内だけで完結するような施設にお金をかけてまで整備する必要性は低い。
- サンプラザのある場所に「宝くじ売場」をつくって、金持神社の20万人をそこへ案内すると、結構な人が足を運ぶと思う。また、それと併設して、山の木や石を使って、参拝記念の縁起物を作るスペースを設け、そこには芸術村ではないが指導者も配置したらどうか。
- 募集の仕方は全国募集とし、施設の整備手法として「ビフォーアフター」というテレビ番組に手をあげてはどうか。(自治体としての第一号は長崎県の平戸市が観光施設を整備)
- (金持神社の)20万人のうちかなりの人が足を運べば、宝くじの販売手数料が入れば(施設の)維持管理もできると考える。
- 葬祭センターは自宅葬の延長的な考え方であってよいと思う。葬儀を最優先とすると事前に告知しておけば多目的な利用も可能。

- (町外から来た人に)立ち寄ってもらってオシドリや金持神社を案内できる施設があるとよい。
- 夜中にトイレをする所がない。明るい場所があって自動販売機があり、ちょっと休憩して談笑もできるようなコミュニティ的な施設も欲しい。
- トイレも整備して、道の駅的な要素を持った施設という提案であると思うが、少なくとも案内所のような施設は必要。
- 葬儀もできる多目的なスペースはよいという意見があったが、その実効性と収益の問題がある。特に黒坂はお寺が多く、葬儀はほとんどが自宅かお寺で行い仕上げは集会所や公民館で行う。溝口にはJAの施設があり町内にはJAの組合員、準組合員が多く、日南に「せせらぎ」があって低料金で利用できる。根雨にもお寺があって会館もある。葬儀をする施設を整備した場合には通夜をする部屋をどうするかという問題もある。こうした状況の中、葬儀ができる施設を整備しても長続きするかどうか不安が大きい。
- 最近の傾向として、自宅葬も大変だから止めようかという傾向にある。自宅の延長のような形で、それぞれの葬儀社が入って使ってもらったらよいのではないか。
- 日野町では年間で約30人亡くなっている。このうち何件が葬儀で利用されるか分からないが、子育ての広場も欲しい、宝くじ売場も欲しいという意見がある中で、出入口を別にするとともに同じ建物の中に通夜室を設けるような施設が本当に必要であろうかと思う。
- 2階部分について、防災の総合的なセンターとして活用が考えられる。
- 住民からの意見は自分たちが使いたい、住民へのサービスを良くするものが中心であった。(金持神社に)20万人の観光客が来るということは、町人口の20倍の数字であり、消費の対象の数字としてこれを使わない手はない。住民へのサービスだけでなく、観光客など外から来られる人にアピールしたり、サービスを提供できるような機能も取り入れてもらいたい。
- ドラッグストア、日野町ブランドの農産物を販売する場所、高齢者が集まって座談会できる場所、子育て関連で子ども達が集まれる場所、日野高校の生徒が通学途中に立ち寄って勉強ができる場所など、住民のためにプラスになる場所であって欲しい。
- (金持神社の)20万人の観光客の3割が足を運んでもらっても6万人という人が来る計算になり、日野町にとって大きなマーケットになる。縁起物やハンバーガーも含めて、日野町でリピーターができるようになればよい。
- いろいろな意見が出ているが、①ターゲットとして町内の住民を対象とするのか、観光客など外貨を稼げるマーケットを対象にするのか。②公共性や公益性が高いものと収益性があるもの。これら2点を縦軸と横軸にして、出された意見がどこに位置づけられるか整理して検討してみてもどうか。
- 教育に資するようなもの、子育て世帯の働き方や生き方を支援するもの、高校生の進学やキャリアを伸ばすようなものもよいのではないか。
- 資金調達の方法として、金融機関からの融資だけでなく、日野町の関わりを上手に情報発信す

る形でクラウドファンディングのような手法も考えられる。

- 是非ともインターネット環境を整えてもらいたい。日野町は土地が安いし、(インターネット環境が整えば)こちらに来てできる仕事も結構ある。教育＝子育てで来てもらえる可能性がある。東京では保育所に入れない人も多く、自然に近い所で子育てしたい人もいるので、そういう人の選択肢の一つとして日野町が土俵に上がれるようにすべき。
- 施設の屋根を利用して太陽光発電ができないか検討してはどうか。
- バックヤードは水回りも部屋もたくさんあって充実していたので、独居の方の弁当を作る業者に入ってもらうなど有効活用できないか。
- 例えば、ショップなどで10坪のスペースを使わせてもらう場合、隣のスペースと仕切るための壁とか、ショップの所までの電気、ガス、水道などを行政で整備してもらえるのか、事業者としてどこまで負担するのか分らないと、手を挙げられない。
- 米子の天満屋の専門店街がデベロッパー方式であり、出店者が経営者となって参画している。ある程度は公設で整備して、その後は出店する事業者が経営会議を開いてどうやって行くのかを話し合わないと、進まないのではないかな。